

# 相続ドック NEWS RELEASE 2009.9

NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE NEWS RELEASE

## 生保業界最新事情！ 株式会社化に見る業界の行方

生命保険業界、最新事情と動向！  
300万人株主誕生？  
株式会社化で何が変わる？



生保業界第2位、日本最古の相互会社である第一生命が2010年に株式会社に転換することを発表しました！ 我々契約者への影響、他の大手生保の対応などが注目されます。

### なぜ今、「株式会社化」？



#### ●第一生命「株式会社化」を発表！

誰もが知っている大企業。でも株式会場でなく、株式上場もしていない…。大手生保はなぜか「相互会社」。このたび、第一生命が2010年4月に株式会社に組織変更し、株式を上場することを発表しました。

#### ●大手生保はどうして「相互会社」？

##### 相互会社とは？



保険業を行う目的で、保険業法により設立された「保険契約者をその社員とする社団法人」。相互会社は営利法人でも、公益法人でもない「中間法人」と位置付けられる。契約者は原則、社員となり、株式会社の株主総会に当たる意思決定機関は社員総代会と呼ばれる。

世界の保険会社には、保険会社だけに認められている相互会社と株式会社の2種類の形態があります。日本でも2000年の保険業法改正で、株式会社化が認められました。



#### ●相互扶助の精神？

そもそも保険は、多くの契約者がお金を出し合い、万一の場合に保険金を受取れる「相互扶助」の仕組みで成り立っており、このための組織が相互会社です。契約者は、株主に相当する「社員」と呼ばれます。（いわゆる、保険会社で働いている人は「職員」）

#### ●株式会社とどう違う？



相互会社で例えば、保険料が余ったり、予想以上の運用益が出るなど利益が出た場合、株式会社のように還元すべき株主がないため、契約者である社員だけで、配分することができます。つまり、できる限り少ない費用で相互扶助の保険を提供できるというわけです。

#### <株式会社Vs相互会社>

	相互会社	株式会社
設立根拠法	保険業法	商法
構成員	社員(契約者)	株主
損益の帰属	社員(契約者)	株主
主な資本調達手段	基金	増資

#### ●株主総会にあたる「社員総代会」

株主総会のような経営チェック機関が「社員総会」です。株式会社の株主数は大会社でも数10万人に対し、相互会社では社員(契約者)数は膨大で、しかも一人一人の権利は同じ。そこで社員の代表となる「総代」を選出し、「社員総代会」を開き、主に企業経営者や地元の名士が選ばれています。



## ●第1号は大同生命！



近年、世界各国で株式会社化が加速していますが、日本の状況は以下のように。なお、三井生命は当面、上場を見送るようです。

### ＜日本における株式会社化の動き＞

時期	内容
2000年6月	保険業法改正（株式会社化可能に）
2002年4月	大同生命が株式会社化し、上場
2003年4月	太陽生命、共栄火災海上保険が株式会社化
2004年4月	大同生命、太陽生命の共同持ち株会社T&Dホールディングスが上場 三井生命が株式会社化
2009年7月	第一生命、来春の株式会社化を発表

## ●背景にあるものは？

株式会社化の理由は次の3つが考えられます。

- ①一連の保険金不払い問題をきっかけに、**透明度の高い経営形態**が求められている。
- ②人口減少と高齢化社会が到来する中、国内生保市場は縮小トレンドで、株式会社化を通じ、**海外の保険会社とのM&Aを進めることが可能に**。
- ③株式会社化により、**柔軟な資金調達が可能に**。

## ●資金調達のメリットが大！

相互会社のままでも株式会社の買収は可能ですが、株式交換による株式を対価とした買収ができないのがネック。一方、欧米の生保会社の株式会社化は1990年代以降に進展しましたが、その背景には契約者持分の分配を狙った株式会社化要求もあったとか。

## 保険会社それぞれ事情



### ●第一生命、株転の衝撃？！

業界首位の日生や4位住友生命の積極経営に比べ、「おっとりした」イメージが持たれていた第一生命が昨年突然、「株式会社への転換でリスクマネーを調達し、海外事業の拡大や業界再編に乗り出す」と攻めの姿勢を鮮明にしたことが、業界に大きな波紋を広げました。

### ●株式時価総額NTTを上回る？

生保業界の再編観測が高まるのは必至。契約者約850万人の巨大生保だけに、上場時の株式時価総額はNTTを上回る最大3兆円程度と見込まれ、第一生命は巨額の資金調達で敵

対的買収も可能になります。



## ●相互会社のジレンマ？

第一生命斎藤社長は、2007年12月、株式会社化決断の理由を「アジアなど海外での事業展開を進めようとしても、相互会社のままでは、日本の契約者からの保険料収入で投資を賄うことになり、おかしなことだ」と指摘。

## ●他社に突き付けた問題とは？

これは他の生保への問題提起にもなっています。保険の理念からすると、本来、契約者に還元すべきお金を、契約者に直接関係ない事業に回すのは問題があるというわけです。新規事業には、上場して投資家から集めたリスクマネーを充てるのが本筋ではないかと。

## ●他の相互会社の動向は？



7月に開催された大手生保の総代会では、株式会社化への姿勢や戦略の違いが明らかに。

### ◆ NISSAY 日本生命 相互会社を維持！

「契約者、株主双方の利益還元を求められる株式会社よりも、契約者利益の最大化が図れる」と相互会社を当面継続する方針を表明。安定配当のため、今後5年間、基金などで自己資金を6千億円積み増し、計3兆3千億円にする。

同社ホームページでは相互会社のメリットを強調。とはいえ、株主総会がないため、契約者利益の透明性は今ひとつ？

### ◆ 住友生命 経営戦略上の選択肢！

株式会社化には費用や労力もかかると説明しながら、「経営環境は刻々と変化を続けている。経営戦略上の重要な選択肢として今後も検討を続ける。」

株式会社化済の三井生命と共同出資で、来年新会社を設立。出資比率は住友生命が80%。来店型店舗やネット販売で、生保レディー中心の営業からの脱却を目指すとか。

### ◆ 明治安田生命 引き続き検討！



株式会社化を一度検討したものの、保険金不払い問題の再発防止策を優先。「引き続き研究課題」と、現時点では明確な見解を示さず。

同社は、明治生命と安田生命が相互会社のまま合併。なお、業界を揺るがした不払い問題は同社の悪質な対応に端を発しているとも。

## ●見直されてきた「相互会社」?

株式会社化への関心が高まる日本に対し、米国は相互会社のメリットに注目。ある米格付け会社は相互会社につき、「現在のような市場環境では結果的に安定性を維持できている」「今後しばらく米国で株式会社化は起きない」と報告。

## ●利益第一主義に疑問が!

米国経済紙も、金融危機以降、相互会社が契約者を増やし、高格付けを保っていると報じており、米国最大の保険会社AIGの経営危機などもあって、保険会社の「ハイリスクハイリターン経営」を疑問視する流れに。

## ●第一生命保険(株)の行く先

経営者にとっては、相互会社の方が経営しやすいのは事実。上場すれば経営の透明性を厳しく問われる上、買収されるリスクもあります。株式会社化へ踏み切った第一生命の今後の経営が注目されるどころです。

## 実際の割当てと課税

### ●契約者に臨時収入?

保険加入者に対し株式が割り当てられます。  
 <株式会社化のスケジュール>

2009/3/31	補償基準日	株式を割り当てる対象契約者を確定
2009/6/30	定時総代会	株式会社化に関する承認を受ける
2009/7-12月	割当株式数の通知	寄与分割合に応じた株数を郵送で通知
2010/3月下旬	売却価格決定	裁判所の許可による方法で決定
2010/4/1	株式会社化株式上場	商号は第一生命保険株式会社
	株式の受取り(証券口座へ)	契約者指定の証券口座に記録
2010/4月~	現金の受取り(銀行口座へ)	契約者指定の銀行口座に順次送金

### ●株式会社化でなぜ割り当て?

保険会社のお客様である契約者からすると、なぜ株が割り当てられるのか、自分には割り当てがあるのか等、素朴な疑問がわいてきます。

#### Q:なぜ割り当てられる?

株式会社化後は、総代選出権などの経営に参加する権利が無くなるので、この権利を補償するため、寄与分に応じて株式を割り当てる。

そんな権利は知らなかった契約者がほとんど?

#### Q:自分には割り当てがある?

補償基準日2009年3月31日時点で有効な有配当契約の契約者に対して計算し、株式数が通知される。割り当てがない場合もある。

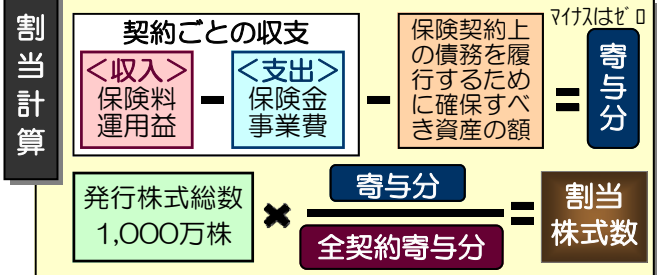
7月から通知の郵送が始まっています。噂では生まれ月順とか。割り当てには公平を期すため、外部第三者の数理専門会社に依頼。

#### Q:割り当てが株式と現金の違いは?

割当株数のうちの小数点以下の端数部分は現金で支給されます。また割当が1株未満の場合も現金。(会社で一括売却し現金化して支給)

### ●もらえる人、もらえない人?

「寄与分割合に応じて」とありますが、どんな保険が多く割り当てられるのでしょうか? 死亡保障や入院保障等の保障性の高い保険の方が、貯蓄性の高い保険に比べて、割り当てが多いようです。(無配当保険は対象外)



保険会社が逆ザヤを抱える貯蓄性の高い保険(養老保険・個人年金等)は期待できないようです。保険料が高く、掛け捨て部分の多い(保険会社に貢献する?)保険が割り当て大に。

### ●国内最大!株主数306万人

保険契約者821万人の37%、306万人に1株以上が割り当てられ、株主数でNTTの103万人を抜き国内最大に。端株割り当てで現金で受け取る契約者は432万人に。

### ●受け取り時の課税は?

大同生命の株式会社化時に国税庁への照会が行われており、準用すると以下のように。

- 評価額 株式割当: 売り出し価格で評価  
現金割当: 交付金銭の額
- 法人: 2010年4月1日の属する年度の益金
- 個人: 2010年4月1日分の一時所得  
(他に一時所得がなく50万円以下なら課税なし)